

第 19 回平野区介護保険事業者学術研究学会

発表演題募集要項

今年度の学術研究学会では、特定の狭い専門領域にとどまらず、「幅広く、多様な視点から日々の実践と研究を発表し合う」ことを目指しています。

介護・福祉を取り巻く環境が目まぐるしく変化する今、私たちが持つ実践の「知」を持ち寄り、地域のネットワークへとつなげていく。そして、職種や組織、地域の「壁」を越えて手を取り合う。そんな未来のケアの形を共に描き出すため、皆さまからの多彩なご発表を心よりお待ちしております。

◆学会テーマ

「知」を紡ぎ、「地域」で結ぶ
～壁を越え、手を取り合うケアの形～

◆募集テーマ(構成要素)

以下の 4 つのテーマをはじめ、これらに捉われない自由な視点での実践報告・研究発表を募集します。

テーマ①:生産性向上(介護 DX・ICT の活用)

- ・ **内容:** 業務効率化、インカムや見守りセンサー、介護ソフト等の ICT・デジタル技術(DX)の導入事例。
- ・ **検討事項:** 導入によるケアの質の変化、職員の負担軽減効果、現場への定着に向けた課題や工夫など。

テーマ②:事例研究(現場の「困難事例」へのアプローチ)

- ・ **内容:** 現場で対応が難しい、あるいは「困難事例」と捉えられているケースへのケア実践報告。

- ・ **検討事項:** なぜ困難であったのかの背景分析、多職種でアプローチしたプロセス、解決への糸口や気づき、今後に残された課題など。

テーマ③: ハラスメント(現場における対応と対策)

- ・ **内容:** 利用者や家族からのハラスメント(ペイシエント・ハラスメント)、または職場内におけるハラスメントへの取り組み。
- ・ **検討事項:** 組織としての相談窓口の設置やマニュアル作成、職員を守るための具体的な防衛策・対応事例、安心できる職場環境づくり。

テーマ④: 家族介護の課題(老々介護・認知介護の実態とケア)

- ・ **内容:** 高齢者が高齢者を介護する「老々介護」、認知症の人が認知症の人を介護する「認知(にんにん)介護」に直面している世帯への支援。
- ・ **検討事項:** 地域で孤立させないための早期発見の仕組み、家族全体の QOL を高めるためのケアマネジメントや地域資源(フォーマル・インフォーマル)との結びつき。

◆応募概要

発表形式: 口頭発表(パワーポイント等を使用したプレゼンテーション形式)

応募資格: ①平野区介護保険事業者連絡会会員
②公益社団法人大阪介護支援専門員協会会員
③医療関係者、研究者
※共同発表も可

応募締切: 2026 年 8 月 7 日(金)

＜応募フォーム＞



抄録締切: 2026 年 9 月 30 日(水)必着

※抄録見本(作成要領は応募後、別途お知らせします)

～演題発表をお考えの皆さまへ～

「こんな事例でも発表していいのだろうか」と迷う必要はありません。

あなたの現場での試行錯誤や、地域を笑顔にするための小さな一歩こそが、他の地域や施設の「知」となります。

多様なバックグラウンドを持つ皆さまと手を取り合い、熱い議論ができることを楽しみにしております。

第19回 平野区介護保険事業者学術研究学会
実行委員一同

＜本案内のお問合せ＞
長吉地域包括支援センター
 06-6790-0766